

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2375601016		
法人名	社会福祉法人嘉祥福祉会		
事業所名	グループホームあま恵寿荘		
所在地	愛知県あま市二つ寺西高須賀2番地		
自己評価作成日	令和7年9月20日	評価結果市町村受理日	令和8年3月10日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/23/index.php?action=kouhyou_detail_2018_022_kani=true&JigyosyoCd=2375601016-00&PrefCd=23&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 中部評価センター		
所在地	愛知県名古屋市長区左京山104番地 加福ビル左京山1F		
聞き取り調査日	令和7年11月6日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

その人らしさ・個性・リズム・ニーズを共感し地域の中で”普通の生活”を送って頂けるように支援する。またできる限り在宅での生活がホーム内で維持できるような環境づくりや取り組みなどに力を入れております。今年度より外泊、外出、外食やご面会などの制限もなくなり新たな取り組みにもチャレンジする楽しみも増えてきました。昨年度より開始している移動スーパーも定着し毎週楽しみに買い物しています。ホーム内での野菜作り、収穫、調理と季節を感じながらの生活は日々の楽しみとなっており、その様子を通信にてお伝えしております。運営推進会議開催前にはご家族様に郵送にて要望や意見など取りまとめ反映しております。入居者様やご家族様また職員が心地よい居場所となる様に、また”その人その人の望む支援”が実現できるように努めております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

◎軽減要件適用事業所
今年度は「軽減要件適用事業所」に該当しており、外部評価機関による訪問調査を受けておりません。したがって、今年度の公表は以下の3点です。
①別紙4「自己評価結果」の【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点】と「自己評価・実践状況」 ②軽減要件確認票 ③目標達成計画

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念の共有は出来ており“その人らしく”を一番に考えている。ご家族にもご相談し本人主体の実践に繋げていけるように努めている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域主催の催し会の参加や地域商店への移動販売のお願いなど地域の方に協力や交流をお願いしている。また地域行事への参加や活動をしているボランティア訪問などの交流も行っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	施設代表者が地域の防災訓練などの参加をし、災害時の協力施設として受け入れや避難場所として体制を整えている。地域の施設交流も体験、見学を通じて深めている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現在は施設にて対面式で行っていますが2ヶ月/1回の書面アンケートにて意見を頂きサービス向上に役立てている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議にてホーム内の問題やご家族様の質問など相談したり、慰問・ボランティア訪問、地域交流の場の相談など地域に関する取り組みなど協力して貰っております。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	内部研修や外部研修にも参加し理解を深め、情報は共有周知している。環境を整える事で拘束をしない取り組みを実践できるようにしている。また運営推進会議の際、身体拘束の報告も行っている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内部研修や外部研修にも参加し理解を深め、情報は共有周知している。年に一度虐待防止チェック表記入し自己評価を行い管理者も評価面談を行っている。また運営推進会議の際、報告を行っている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	内部研修や外部研修にも参加し理解を得るまた実践に活用できるように支援に役立っている。他職員の研修頻度が少なくもっと理解を得る機会を考えて行きたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前に相談内容や疑問点、問題点を聴き取りを行っており不明な際は細かく説明を行っている。その為契約前に時間をかけている。契約後も相談いただける事を伝えている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議を開催する際、事前に施設行事等運営状況を書面で郵送し意見書を返信して頂く。2ヶ月／1回は行っておりその際頂いた意見を運営に反映している。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日のミーティングや毎月のカンファレンスでの意見交換と検討会を行う中で職員からの相談や方針、対応など話し合っている。職員の意見を聞く機会には常に開かれており、先送りしないよう心掛けている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	毎年勤務評定を行い専門性などの評価を各部署責任者や施設長などが評価をし面談を行っている。法人内でも勤務評定を明確にし賞与などに反映している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内にて新人・中堅・リーダー研修会や介護福祉士実務者研修の開催、スキルに合った外部研修等参加している。その職員に合った内容を各部署研修として行っている。」		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	居宅事業所などを中心に施設全体の見学と意見交流会を3ヶ月／1回のペースで始めた。法人内でも交流の場がある。研修の際もグループワークの有る物に参加し質の向上に努めている。		

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	各職員がご本人の気持ちに配慮し、今までの生活歴や家族との関り、ご本人の意向、意見、要望など傾聴し不安の軽減に努めている。カンファレンスや毎日の申し送りで職員全員が周知している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約前にご家族様からの問題点や要望などに時間をかけておりホーム内にてどの様に対応していくか検討、ご説明する様に努めています。また会話の中で少しでも解決の糸口がみいだせる様に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族が希望する場所に（利用中の施設や病院など）出向き面談し生活状況や環境などを把握する様にしている。ホームでの生活が営めるかを見極める。また状況に応じて他のサービスを進める事もある。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人がこれならやれるという物を役割とし毎日継続できる事で入居者様同士助け合う関係性が気付け、職員が「お願いします」の声掛けが共同生活の楽しさや達成感に繋がっている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	外出する機会も増えた事で家族との関係も距離が縮まって来ているように感じます。面会の制限もなくなった事で訪問回数も増え交流を深める事ができ今まで以上に繋がりを大事に出来ていると思います。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	季節の行事や買い物など入居者様の住み慣れた場所への外出を視野に入れ関係性や回想に繋がるような支援に努めており、地域の商店などの利用により馴染みの人や生活歴の維持にも繋げている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う者同士や趣味の合う方との買い物やホームでの畑作業など職員も一緒になり支援している。ホーム内の席の配置や役割などコミュニケーションが取れるよう支援している		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	施設内移動の方など元気にお過ごしですか、困ったことはありませんかなど、ご家族様のお姿を拝見した際は、声を掛けるようにしている。またご相談を受けた際は積極的に相談に努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中で各職員が入居者様の意見を傾聴し会話の中で各担当職員が細かくアセスメントを行い、月／1回のカンファレンスや毎日のミーティングにて検討している。また家族の意向も参考にしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の相談の時や契約時に以前の生活歴や生い立ち家族構成など聞き取りを行う際、把握に努めている。入居後もご本人との会話の中で把握できた情報は支援に活かすよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケース記録は時系列で記録しており、その記録に添って一日の過ごした経過や体調の変化や心身の変化など把握に努めている。職員間でも情報の共有と現状把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当利用者に対し職員がプランに沿ったモニタリングと問題点・改善点・できる事・できない事を上げアセスメントにて実践状況を把握し職員全員で検討しカンファレンスで反映できるようにする。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日のケース記録の項目の中にケアプランの達成状況を記録する箇所があり、職員間で日々の達成状況を共有できる為しっかりと振り返りや反省もでき実践に活かす事ができている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個別支援や外出支援などその時々合った対応をしている。医療が必要となった際は多職種連携を組み、ご本人やご家族様のニーズに合った対応を実践しております。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	多方面の方や地域の協力者の方にボランティア訪問をして頂ける方の紹介を頂き慰問や訪問に繋げ、支援活動の輪が広がっている。地域主催の音楽会や福祉活動など外出する機会も増えた。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	必ず入居前にかかりつけ医の希望を確認している。家族の協力の下かかりつけ医や専門医など継続的な通院をご家族様をお願いしている。また受診の際は状態や体調などの記録をまとめ提供している。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師は週1回グループに出勤し必ず様子や状態の把握を行い職員と情報の共有等行なっている。処置や対応も常に相談しやすい環境である。24時間のオンコール対応で緊急時の体制も整っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医療機関の病院とは日頃から連絡を密に行える環境にある。入院の際はICにも参加し情報の共有も行っている。またご家族様よりご相談を受ける事もあり、情報交換にも努めており安心して治療に専念できるように努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居の際に重度化となった場合での支援の在り方や方針の変更などの説明を行っている。その際もご家族様の気持ちに寄り添えるように努めている。法人内の特養や他の転居を支援するなど、適切な支援を行っている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	内部研修にて心肺蘇生や急変時に備えた対応について勉強会や消防訓練の際に実践講習などあり、演習指導も参加している。またどの職員も対応できるように努めている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	毎月の防災訓練を行う中で火災・風水害の移動訓練など行っている。グループ独自で避難食を皆様と作り昼食として食べたり、居室の窓から車椅子を押し避難したりと実践に繋がるような訓練を行っている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	各職員が自尊心を傷つけないよう心掛けてい る。居室やトイレの際などノックをするプライバ シーに配慮している。呼称は「さん」付けを基本に ゆっくりと会話をしている。自己チェックで振り返 りも行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自 己決定できるように働きかけている	その方の表情の変化などに気を配り自己決定が できる環境を作り、タイミングを計って傾聴に努 める。またジェスチャーやコミュニケーションでご 本人の意思決定につなげている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	その方の一日の過ごし方やペースを把握し、今 日の予定をご本人の意見を優先し進めていくよう にしている。また体調不良にも配慮し見極め寄り 添える支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように 支援している	男性の方は髭を剃って整える事が習慣となっ ており、行事の際はその時々合った服を選ぶな ど気に掛けている。女性の方は自分の好む美容 室へ出向き毛染めなどを行い、おしゃれを楽しん でいる。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好み や力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備 や食事、片付けをしている	野菜の下準備やおしぼり巻き、テーブル拭き、食 器洗い等皆様のペースに合わせ行っており、役 割としてケアプランに反映もしている。畑が趣味 の方は自分で収穫し、お漬物を作り皆様に提供 している。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて 確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に 応じた支援をしている	個人別の表に食事・水分など摂取量を記録しバ ランスを見て支援しており、体調の変化も観察し ながら個別支援計画を立てたりしている。常に体 調の変化はグループ看護師に報告、相談し支援 している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一 人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケ アをしている	口腔内の維持管理についての助言を毎月頂き 職員で共有し外部研修等参加している。食事後 には職員が個別に口腔内ケアにあたり維持管理 に努めている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個別の排泄チェック表にて日々の排泄状況や排泄パターンの習慣を職員間で共有し自立支援に役立てている。失禁用ショーツの着用などお願いし以前の様な習慣が維持できるよう配慮している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表を元にコントロールしているが施設内の運動や水分摂取量などチェックし、ご本人の体調など各職員が総合的に判断し、個人々での対応を行っている。毎週看護師に相談し改善に努めている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ご本人の希望する時間帯や曜日、体調など配慮しながら入浴を行っている。また安心して入浴をして頂けるよう支援している。季節行事にて菖蒲湯、ゆず湯なども提供している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人のペースに合った日常習慣や室内の温度調節など体調を整えて貰えるように配慮している。廊下や共有スペースのソファや椅子などご本人の心地の良い場所での休息など提供している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各職員が変更時期や定期薬の処方内容をその都度確認共有し注意点についても申し送りし事故にならないように努めている。その後の経過等、医師、看護師に報告、相談するように周知している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	各職員が日常生活の中でご本人の生活歴や意向、趣味や楽しみ等、ケアプランに活かしている。外出、外食支援の幅も広がり気分転換のきっかけとなっている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	今年度より外出、外泊がフリーとなりご家族様との交流も増え、外食や一時帰宅の楽しみとなっている。またご本人の希望も傾聴し支援している。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	毎週月曜日に移動販売が来ることで商品と価格を見て購入しているので考えながら手に取っている事がとても刺激になっている。また支払いの際ご本人がお金を手渡す事で買い物した満足感が得られる。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話を活用しご自身で連絡ができる環境であり、ご家族様にもLINEの活用で都合の良い時間などに支援できる体制である。ご本人自筆の写真入り通信や年/4回の絵手紙作成など支援をしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	中庭を眺めて四季折々の植物や緑がある。花やプランタなどは入居者様と一緒に手入れをしており、会話がはずむ空間づくりに取り組んでいる。また自室より入居者様がお世話をしている畑や花壇など季節を感じて生活ができる場がある。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	各自落ち着く場にソファ椅子があり中庭を眺めて仲の良い方と一緒に過ごせる空間があり日常の写真や作品の展示がありゆっくりと会話をしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅で使用していた家具や使い慣れた物を(寝具)持参して頂いたり、ご家族様の写真などご本人様が安心して過ごされるような工夫をしている。また植物やお花など趣味の物を飾る方もいる。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の表札を大きく表示したり、誘導看板をご本人の目線に合わせ自立した日常生活が送れるよう工夫している。又居室や食堂での動線の確保する事で、安全かつ自分ができる事が自信に繋がっている。		